



西横野小通信

学校教育目標 「学ぶ子」「助け合う子」「元気な子」

第17号

令和2年8月24日

発行責任者 萩原 宏明

TEL 393-1127



「自分から」の気持ちを大切に



夏休みが終わり、子どもたちの賑やかな声が戻ってきました。いつもよりも短い夏休みでしたが、いかがお過ごしだったのでしょうか。思うようには出かけたりすることができなかったであろう今年の夏休み。しかも、猛烈な暑さの日も多くありました。そんな夏休みを終えて、2学期を迎えました。保護者の皆様にはお世話になりました。感謝申し上げます。

2学期は、もともと予定されていた教育活動に加え、1学期から移動したのものもあります。慌ただしくなりがちな時期ですが、2学期は夏の終わりから冬までの最も長い学期です。季節の移り変わりを肌で感じながら、さまざまな学習活動を通して、子どもたちが「自分で考えて」「自分で正しく判断して」「自分で行動して」学んでいけるように、子どもたちの「自分から」の気持ちを大切にしながら、大きく成長できる2学期にしていきたいと思えます。

引き続き感染症と熱中症への予防と対策を行いながら、教育活動を進めていきます。2学期もよろしくお願いいたします。



* 始業式～2学期はこんなことを～ *

暑さと感染症への対策で、始業式では短い時間でしたが、子どもたちにこんな話をしました。

○「昨日の自分を超えていこう」

大きな目標は達成するのが大変。少し頑張ればできそうなことにチャレンジしよう。小さな目標を決めてそれを達成して、目標を少しずつ大きくしていく。小さな目標を達成していくことが自信になって、大きな目標を達成することにつながる。昨日の自分を超えていける。今日の自分はよかったなと思える一日にしよう。

○「しあわせのバケツをいっぱいにしよう」

日直の仕事もサンダルを揃えることも掃除当番も、誰かのためになっていると考えながら仕事をしてみよう。そうすると、人はもちろん、自分にとっても気持ちの良いものになる。やさしい気持ちになって、お互いにしあわせのバケツがいっぱいになるよ。

○「今までどおり、感染症に気をつけよう」

おうちの人も先生たちも、みんなのことが大好きだから、感染してしまうと悲しい気持ちになる。自分のために、そして人のためにも、お互いにしっかり気をつけていこう。とにかく手洗いを

よくすること、校舎内ではマスクをつけること、友達が近くにいる時には大声を出さないことをこれからもやっていこう。そして、もしも感染してしまった人がいたら、イヤなことは絶対に言わないこと。心配するやさしい気持ちをもとう。

* 気をつけていきます～熱中症～ *

例年よりも早い2学期のスタート。本来は「暑過ぎるから夏休み」なのですが、今年度はやむを得ません。学校では、「暑さ指数(WBGT)」(気温1割・湿度7割・輻射熱2割を使った指標)をこまめに測定して、運動や遊びを制限しています。第15号でもお知らせしましたが、帽子や水筒に加え、必要に応じて、登下校中に限り、冷感タオル等を使用しても構いませんので、熱中症にならないよう、気をつけていきましょう。



* お願い *

万一、お子さんやご家族に心配な症状が出て、新型コロナウイルス感染症の検査(PCR検査や抗原検査等)を受けることとなった場合、または濃厚接触者に特定された場合には、すぐに学校へお知らせください。学校はプライバシーを守りつつ、保健所や市教委と連携して、対策を講じます。